

# 地域ふれあい参観で防災の心構えを説明

～高城小学校で実施された防災訓練・防災教育の授業に出前講座として参加～

平成24年12月9日(日)に倉吉市の高城小学校で全児童とその保護者や地域の方を集めた防災訓練が実施されました。これは防災意識の向上や早期避難などの防災体制・活動の強化を目的に高城小学校の地域ふれあい参観として実施されたもので倉吉河川国道事務所も出前講座として参加させていただきました。

高城小学校の子どもたちは、朝、雪の降る中、地域の避難訓練に参加してから登校し、自衛消防団の操法訓練を見学した後に各学年で防災学習や安全・防災などの看板を作成するふれあい活動を行いました。

防災学習では防災ダック※1を作ったり、自分の身の安全の守り方の学習や住みよいくらしを作る学習などがあり、倉吉河川国道事務所は災害対策車両の展示や高学年とその保護者に防災についての授業を行いました。

展示した災害対策本部車は東北大震災にも出動し、中国地方整備局内に2台しかない車両で、初めて見たその大きな車両や車内の設備に小学生たちは興味津々でした。

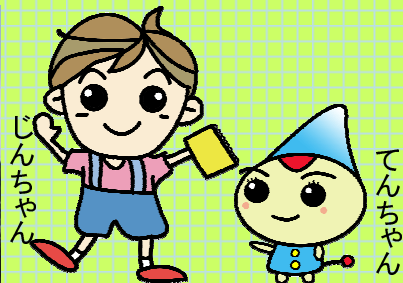
※1「防災ダック」は、安全・安心の「最初の第一歩(ファースト・ムーヴ)」を、子どもたちが、実際に身体を動かし、声を出して遊びながら学んでもらうためのカードゲームです。



じんちゃん



災害対策本部車を見学



じんちゃん

てんちゃん



防災の授業状況



てんちゃん

安全・防災看板の作成



高城小学校

高城小学校



照明車を小学生が操作



てんちゃん



災害対策本部車内



じんちゃん